

【渋谷 PARCO パルコミュージアム】

アートやカルチャーの発信拠点「パルコミュージアム」展覧会情報**ラストを飾るのはパルコ縁のアーティスト達による3企画**

蜷川実花写真展「IN MY ROOM」 山口はるみ展「Hyper! HARUMI GALS!!」ほか
渋谷パルコ一時休業に伴い、「パルコミュージアム」は2016年8月7日に一旦営業終了

2011年に渋谷パルコ パート1 3Fにオープンした情報発信スペース「パルコミュージアム」は、アートやデザインに留まらずカルチャー、ファッションに至るまで、枠にとらわれずパワフルで自由な才能の数々を紹介してきました。

パルコミュージアムは前身を「スペース・パート3」として1981年、渋谷パルコ パート3のオープンと同時に誕生しました。

パルコの文化的情報発信の拠点として機能し、国内外の熱気あふれるアートシーンの流れを紹介することで注目を集め、その後も「パルコギャラリー」、「パルコファクトリー」、「パルコミュージアム」と名称を変えながらも、時代時代の空気を捉え、新たな取り組みを行ってきました。

このたび渋谷宇田川町地区再開発計画に伴い、渋谷パルコ（パート1、パート3）は2016年8月7日に一時休業することになり、パルコミュージアムも渋谷での役割を一旦終了することになりました。

渋谷の街とともに変化し、時代の空気を反映し、多くのアーティストやクリエイターの方々とさまざまな取り組みを行ってきた「パルコミュージアム」の締めくくり、SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONSと銘打ち、渋谷パルコと縁の深いアーティスト達による3つの展覧会を開催します。



蜷川実花



山口はるみ

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 01】

蜷川実花写真展「IN MY ROOM」

会期：2016年6月18日(土)～7月4日(月)

入場料：一般500円 学生400円 小学生以下無料

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 02】

山口はるみ展「Hyper! HARUMI GALS!!」

会期：2016年7月8日(金)～7月25日(月)

入場料：一般500円 学生400円 小学生以下無料

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 03】

タイトル未定（パルコ縁のアーティスト達による集合展）

会期：2016年7月29日(金)～8月7日(日)

入場無料

会場：パルコミュージアム（渋谷パルコ パート1 3F）

東京都渋谷区宇田川町15-1 問) 03-3477-5873 www.parco-art.com

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 01】

蛭川実花写真展「IN MY ROOM」

会期 : 2016年 6月18日(土)~7月4日(月)

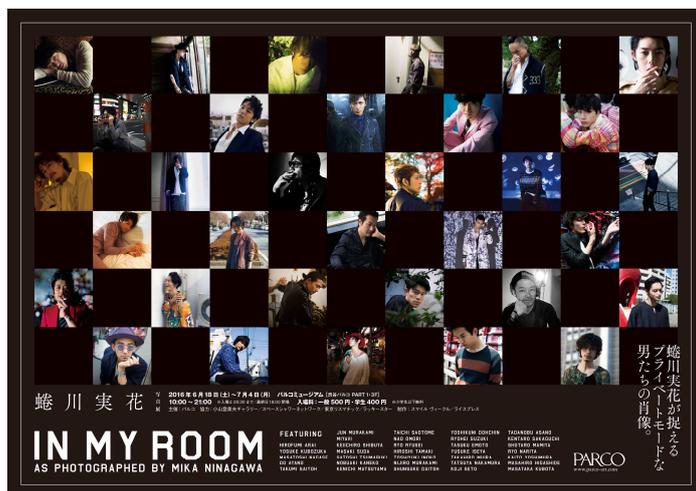
10:00~21:00 (最終日は18:00閉場 / 入場は閉場の30分前まで)

入場料: 一般500円 学生400円 小学生以下無料

主催: パルコ

協力: 小山登美夫ギャラリー/スペースシャワーネットワーク/東京リスマチック/ラッキースター

制作: スマイル ヴィークル/ライスプレス



6月18日からは写真家・蛭川実花の新作写真展を開催します。蛭川実花は2001年、「第26回木村伊兵衛写真賞」受賞発表の直後に新作写真展「まろやかな毒景色」をパルコギャラリーで開催しました。以降、2003年「Liquid Dreams」、2008年「蛭川妄想劇場」、2012年「ヘルタースケルター」と継続的にパルコで個展を発表。また、2007年には彼女の初監督作品となる映画『さくらん』の世界観を体感する展覧会「さくらん極彩色絢爛展」をパルコミュージアムで開催、監督2作目となる映画『ヘルタースケルター』ではパルコの広告キャンペーンとタイアップするなど、彼女の多彩な表現がパルコを舞台に花開きました。

この度開催となる蛭川実花写真展「IN MY ROOM」では、モードな服に包まれた色気香る「オトコたち」をプライベートな視線で撮影してきた、雑誌『EYESCREAM』の人気連載「蛭川実花のプライベートモード」の世界をパルコミュージアムで展開します。

蛭川実花 MIKA NINAGAWA

写真家・映画監督

木村伊兵衛写真賞ほか受賞多数。映像作品も多く手がける。

2007年、初監督映画『さくらん』公開。2008年に個展「蛭川実花展」が全国の美術館を巡回し、のべ18万人を動員。2010年、Rizzoli N.Y.から写真集「MIKA NINAGAWA」を出版、世界各国で話題となる。2012年、監督映画『ヘルタースケルター』公開、22億円の興行収入を記録。

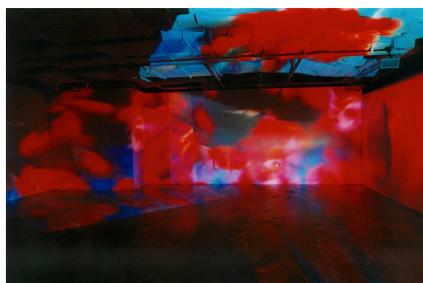
2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事就任。

ninamika.com

パルコで開催したこれまでの展覧会



個展「まろやかな毒景色」(2001年・パルコギャラリー)



個展「Liquid Dreams」(2003年・パルコミュージアム)



個展「ヘルタースケルター」(2012年・パルコミュージアム)

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 02】

山口はるみ展「Hyper! HARUMI GALS!!」

会期 : 2016年 7月 8日(金)~7月 25日(月)

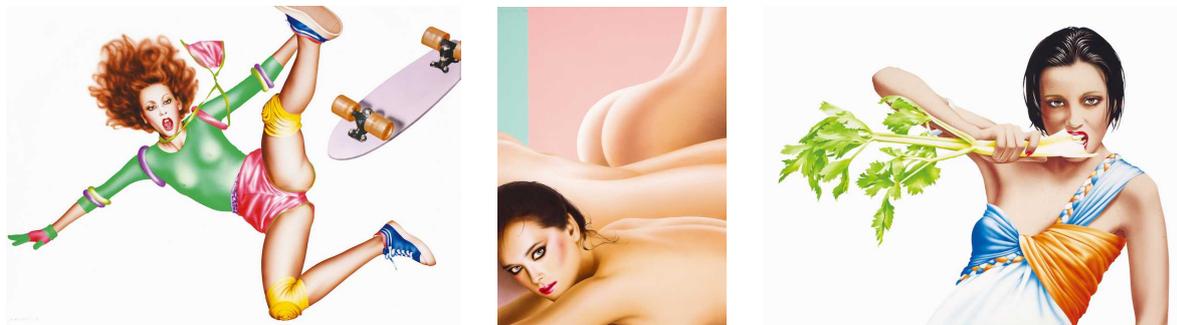
10:00~21:00 (最終日は 18:00 閉場 / 入場は閉場の 30 分前まで)

入場料 : 一般 500 円 学生 400 円 小学生以下無料

主催 : パルコ 協力 : NANZUKA 後援 : 読売新聞社

特別協力 : トーガ アーカイブス 映像制作 : カミュー・ヴィヴィエ アートディレクション : テセウス・チャン&WORK

企画制作 : 亜洲中西屋/パルコ



© Harumi Yamaguchi / Courtesy of NANZUKA

7月8日からは、パルコの広告クリエイションを手がけ、日本の女性の新たな姿を創出したイラストレーター、山口はるみの展覧会を開催します。山口はるみは東京藝術大学油画科卒業後、西武百貨店宣伝部デザインルームを経てフリーランスとなり、1969年、PARCOのオープンと同時にその広告制作にイラストレーターとして参加。以降、エアブラシを用いて描くスーパーリアルな“HARUMI GALS”、’88~’97年にかけて多様な技法で実在の女性たちに迫った「のように」シリーズポスターなど、彼女は未知の時代を切り拓く女性像をパルコの広告に載せてセンセーショナルに提示しました。また、パルコが新しい才能の発掘と応援を目的に1980年に開始した公募展『日本グラフィック展』では、初期の審査委員を務め、日比野克彦、大竹伸朗など後に世界で活躍するアーティストを見出しています。

パルコでの個展は2000年「山口はるみ 21世紀への伝言」以来となる今回の展覧会「Hyper! HARUMI GALS!!」では、パルコの広告として時代を席卷した彼女の代表作はもちろん、強力なコラボレーターを迎え描き下ろす2016年の最新“HARUMI GAL”を発表します。彼女への深い敬意と共に本展に参加するコラボレーターは、ロンドンやパリなど国際的な地位を確立したファッションブランド「TOGA」デザイナー古田泰子、「エルメス」「マルタン・マルジェラ」「ステラ・マッカートニー」などのコラボレーションで知られるフランスの写真家・映像作家カミュー・ヴィヴィエ、“シンガポールの国宝”アートディレクターのテセウス・チャンの各氏。まさに理想的な布陣によって“HARUMI GALS”の展示空間が演出されます。

山口はるみ HARUMI YAMAGUCHI

島根県松江市生まれ。東京藝術大学油画科卒業。西武百貨店宣伝部デザインルームを経てフリーランスとなり、1969年、PARCOのオープンと同時にその広告制作にイラストレーターとして参加。1972年よりエアブラシを用いた女性像を描く。「マンズワイン」「KRIZIA」などの広告、『Apache』『話の特集』などの雑誌の挿絵を制作。主な展覧会に、「女の70年代 1969-1986 パルコポスター展」(2001年/東京都写真美術館)、個展「Yamaguchi Harumi meets Seibu Shibuya」(2011年/西武渋谷)、個展「HARUMI GALS」(2015年/NANZUKA) など。ニューヨーク近代美術館、CCGA 現代グラフィック・アートセンターに作品が収蔵されている。www.yamaguchiharumi.com

山口はるみが手掛けたパルコの広告



左から) 1977年 AD 長谷川好男 / 1977年 AD 長谷川好男 / 1981年 AD 戸田正寿 C 沢口敏夫 / 1996年 AD 小西啓介 C 沢口敏夫 / 1994年 AD 小西啓介 C 沢口敏夫

【SHIBUYA PARCO MUSEUM FINAL EXHIBITIONS 03】

タイトル未定（パルコ縁のアーティストによる集合展）

会期：2016年 7月29日(金)～8月7日(日)

入場無料

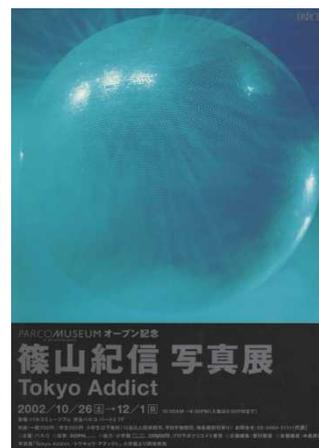
そして、渋谷・パルコミュージアムの最後を締めくくる展覧会は、パルコ縁のアーティストによる集合展。パルコを舞台に各時代活躍してきたアーティストが複数参加し、生まれ変わる渋谷パルコの最後を彩ります。参加アーティストは後日発表いたします。どうぞご期待ください。

■ PARCO MUSEUM（パルコミュージアム）

時代の流れの中で、人々の価値観やマインドは刻々と変化する中、アーティストやクリエイターたちは時代の空気や大衆の向かう先をいち早くキャッチし、新しい表現手法で、人々の深層心理、無意識の世界を具現化します。

「渋谷パルコ」は開業以来、東京を中心に沸き起こる新しいモノやコトの兆し、そして海外のアート、ファッション、カルチャーなどの熱気あふれる情報を吸い上げる受け皿としての役割を担ってきました。

新しい才能を発見し、表現する場として実験的な展覧会を行ったり、国内外の注目のフォトグラファーの写真展やアーティストの展覧会、マニアックなサブカル企画まで幅広く展開してきました。



新しい才能を発見し、表現の場を提供

左) 女性クリエイターたちの文化祭「シブカル祭」 右) アーティスト集団「Chim ↑ Pom」の展覧会



若手から巨匠まで注目のフォトグラファーの写真展を実施

左) 浅田政志写真展「浅田家」 右) 篠山紀信写真展「Tokyo Addict」

国内外の熱気あふれるアートシーンを紹介

左) グラフィックデザイナー「M/M(Paris)」の展覧会 右) アーティスト集団「TOMATO」の展覧会関連イベント



ファッションを思考する展覧会

左) 「シアタープロダクツの現場」 右) 若手ファッションデザイナー達による集合展「絶命展」

名称：パルコミュージアム
 住所：渋谷区宇田川町 15-1 渋谷パルコ パート1 3F
 施設内容：展覧会場
 開業日：1981年 スペース・パート3
 1986年 パルコギャラリー
 2002年 パルコミュージアム
 2007年 パルコファクトリー
 2011年 パルコミュージアム